

古代瓦を葺く

千年の 瓦



IRAKA A Millennium of Tile Roofing

2018年1月20日(土) - 3月11日(日)

トヨタ産業技術記念館 特別展示室

開館時間/9:30-17:00 (最終日は16:30まで) 休館日/月曜日(祝日の場合は翌日)

入場料/無料 (常設展は別途入場料が必要)

主催/竹中大工道具館 共催/トヨタ産業技術記念館 特別協力/山本瓦工業株式会社
協力/鶴工舎、元興寺、興福寺、竹中工務店、橘寺、唐招提寺、東大寺、法隆寺、薬師寺

TAKENAKA
CARPENTRY
TOOLS
MUSEUM



千年の甍瓦

IRAKA A Millennium of Tile Roofings
古代瓦を葺く

元興寺極楽堂と禅室の屋根には千四百年の風雪に耐えて今なお現役で建物を守り続けている飛鳥時代の瓦があります。土を練って焼き上げるだけで、千年も屋根の葺材として使うことができるのです。一体誰がどのようにして作り上げたのでしょうか。本展ではそうした長寿命の古代瓦にスポットをあて、瓦のつくり方、葺き方について、建築という切り口から瓦を読み解いていきます。瓦の葺き方がわかる実寸大の屋根模型をはじめ、瓦の製作道具、職人が手で書いた瓦の原寸図、葺く工程などを映像とともに解説します。また普段屋根の上にあつてなかなかみることのない迫力ある鷓尾、造形豊かな鬼瓦や軒瓦も目の高さでご覧いただけます。瓦に込められた職人の技と心をぜひ会場にてご覧ください。



表面 | 平城宮跡大極殿 ©文化財建造物保存技術協会

- 1 原材料の土 (左から腐木、田土、山土) | 2 古代の平瓦づくり (再現)
- 3、4 古代瓦の製作道具 (一部) | 5 瓦の選別道具 | 6 瓦を葺く道具 (一部)
- 7 唐招提寺金堂の鷓尾 | 8 軒平瓦の木型 | 9 東大寺の鬼瓦
- 10 法隆寺若草伽藍金堂の軒瓦 | 11 東大寺大仏殿昭和の大修理
- * 3、4、7~10は復元品

トヨタ産業技術記念館

TEL 052-551-6115
http://www.tcm.it/og/
名古屋市西区則武新町 4-1-35

- 名鉄
名古屋本線「栄生駅」下車、徒歩3分
- なごや観光ルートバス「メーグル」
名古屋駅バスターミナル11番のりば
「トヨタ産業技術記念館」下車、徒歩0分
- 「名古屋駅」からタクシー利用で5分



映像作品

会場にて「千年の甍 古代瓦をつくる」、
「唐招提寺金堂～天平の技に挑んだ男
たち」、「大佛殿修復7年の記録」(各20
～25分)を上映します。

※展示やイベントの日時・内容は変更になることがあります。
最新の情報は公式サイトにてご確認ください。

公式サイト <http://www.dougukan.jp/iraka/index.html>

姫路城大天守の鯨も
ご覧いただけます。

